



平成 30 年 5 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社ナカヨ
代表者名 代表取締役社長 谷本 佳己
(コード番号6715 東証 第1部)
問合せ先 取締役 常務執行役員 管理統括本部長
加藤 英明
(TEL 027-253-1111)

第四次中期経営計画策定に関するお知らせ

当社グループは、2018 年度から 2020 年度までの 3 年間を対象とする「第四次中期経営計画」を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 第四次中期経営計画策定の背景

当社グループは、2017 年度を最終年度とする「第三次中期経営計画」に基づき、事業規模の拡大と経営体質の強化に取り組んでまいりました。しかしながら、主力製品であるボタン電話装置の売上拡大が想定に届かないなど、目標数値と実績数値に乖離が生じる結果となりました。

一方で、今後の当社グループを取り巻く I C T (Information and Communication Technology) 市場は、I o T (Internet of Things) や人工知能を活用した製品・サービスの高度化が予測されております。また、モノを「所有」するのではなくサービスとして「利用」するシェアリング・エコノミーが拡大するなど、技術革新と共に新たなビジネスの躍進が見込まれております。

こうした事業環境の変化に対応し、「持続的な成長」と「中長期的な企業価値の向上」の実現に向けた、2018 年度を初年度とする新たな中期経営計画を策定いたしました。

2. 基本方針

当社グループは、「国内品質の“ものづくり”の強み」と、「お客様視点に立った“サービス&オペレーション”」を融合させた新たな成長戦略により、「お客様のビジネスの発展をサポートする会社」になることを目指してまいります。

経営数値目標として、オリンピックイヤーである 2020 年度に「売上高 219 億円、自己資本利益率 (ROE) 8%」を掲げ、事業規模の拡大と経営体質の強化に取り組んでまいります。

3. 重点課題

- (1) 事業規模の拡大
- (2) 経営体質の強化

4. 重点施策

(1) 事業規模の拡大

重点項目として下記3項目を実施してまいります。

- ① 新商品の開発
- ② 新顧客の開拓
- ③ 新事業の開拓

既存商品群の機能強化に加えて、サービス商品やアプリケーション商品の**新商品開発**を推進いたします。また、他社との連携もしつつ様々なマーケットを視野に入れた**新顧客の開拓**、さらには、インターホン事業への参入やI o Tの活用などによる**新事業の開拓**をすすめ、事業規模を拡大してまいります。

(2) 経営体質の強化

重点項目として下記3項目を実施してまいります。

- ① 生産性の向上
- ② 創造性の強化
- ③ 社員パフォーマンスの最大化

製造革新活動の継続、I o Tの活用によるスマート工場化、B I (Business Intelligence) ツールの導入などにより**生産性を向上**させてまいります。また、社員の試行錯誤によるチャレンジを推奨する制度の導入などにより**創造性の強化**を図ってまいります。さらには、社員教育の充実や働き方改革の推進など、**社員のパフォーマンスを最大限**に発揮できる環境を整備することで、経営体質を強化してまいります。

5. 経営数値目標

【単位：百万円】

	2018年度	2019年度	2020年度
売上高	19,300	20,400	21,900
営業利益	800	1,300	2,400
自己資本利益率 (ROE)	3.0%	4.4%	8.0%

※本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上